

新退教通信

No.167

2015. 12. 5
新 退 職 員 連 絡 協 議 会
教 職 員 連 絡 協 議 会
☎025-281-8146

集団的自衛権承認に次ぐ

「平和」の崩壊

九月中旬、政府の言う「安全保障法案」（戦争法案）が参院本会議で強行採決されました。14・15両日、反対行動する一員として国会周辺で大声をあげ、反対運動の盛り上がりを感じましたが、結果は会員諸氏の御存知の通りです。

平和と民主主義と

る行動を積みあげていくことです。



新退教副会長

岸 公 平

民主主義を支える

「所得の再配分」

は、今まで歴代政府が踏襲してきた集団的自衛権は認めないとする方針を、閣議決定のみで変更し、集団（つまり米国と日本）で戦争していくために自衛隊を海外に派遣できる法体制です。つまり、米国の要請により、米国のやっつけている戦争に参加あるいは肩代わりしようとするものです。安倍首相は春先に米国を訪問し、米議会でこの「戦争法案」を夏までに可決させると公言・約束したことは、何を意味するのか。丁

稚どんが、お店の主人に、「私はお店（米）の為にこんないいことをしました。ほめてやって下さい」と言っているように見えます。あまりにも情なく、これが自国の最高責任者の言であるのかと疑ってしまいます。米国にとって世界戦略の上でも、自国の財政負担の面でも大変ありがたいことですが、内心は軽蔑していることでしょう。

様々な階層に及んだ反対運動の盛り上がりの中で、この法律を廃案に追い込むには、この法案に賛成した人に投票しないことです。平和を願う国民の声を大きく議会に反映させる行動を積みあげていくことです。

な柱は、「所得の再配分」がきちんとされていることと認識しています。近年とみに望ましい方向と逆な現象が現われているように思えます。一例として、民主党政権になって、自公政権時代には公表禁止だった貧困率が明らかになりました。それによると日本は先進国の中で米国に次いで第二位。併せてこの頃、学力調査結果と家庭の所得の関連を表にした報道があり、低所得家庭ほど結果が良くない

ことがわかりました。マスコミ報道は、「これは大変なことだ!!」というものが圧倒的だったように記憶しています。ところが、回を重ねるに従って「やっぱりそうか」から「そうなくてもしょうがない」ような捉え方になりました。これこそ「大変なことだ」。最近の報道では、日本の子どもは六人に一人が貧困家庭だといわれています。消費税上げの分は、全額社会保障費へという約束は実行されているのでしょうか。

目次

- 巻頭言 1 p
- 研修会&ピアノ演奏 2 p
- 年金の一元化 //
- 感動と感謝の女性交流会 3 p
- 地域包括ケアシステム //
- 支部からのたより 4・5 p
- 長岡、南魚、北新、岩船、北魚 //
- がんばれ後輩！ 5 p
- 熱戦！ 県囲碁大会 6 p
- 五者合同学習会に参加して //
- 連合新潟 高齢者総会 //
- 組織対策委員会より 7 p
- こちら教職員共済「新たな決意」 //
- 会員のページ 8 p

研修会&ピアノ演奏

十月二一日、新教組会館で各支部代表五三名が参加して、第三二回研修会を開いた。



講演 日退教会長・西澤清氏

『戦争法案と沖繩』

『アベノミクスとTPP』〜経過と今後〜

□安倍政治への対立軸

①国民に真実を語らず嘘をついている

②メディアや自らの意見を出そうとして

いる人たちに恫喝をかける

③米国への追従

□日本を取り巻く状況 □戦後七十年の総括

□国会審議の経過 □たたかいの環・沖繩

□民主主義陣営は □マスメディアへの圧力

□金融資本主義に脅える国民生活

参加者の感想

☆西澤会長の講演がとても参考になりました。特に、「老人と若者の結託が社会を変える」という加藤周一さんのことばの紹介が印象的でした。私も、若者・子どもたちと未来を共に考えていきます。

☆残念なことに通過してしまった「戦争法案」に今後どう取り組むか、継続して声をあげていくことの大切さを思った。「街へ出よう！行動しよう！発言しよう！」の日退教方針に賛成である。共に歩みたい。

☆「集团的自衛権賛成、憲法九条など変えた方がいい」と考えてしまう人たちが回りにも結構いることに危機感を感じる。国の未来を左右する大問題に直面していることを、周りの皆さんと共に勉強していきます。

☆日退教の取り組みを知って心強く思った。支部でも、現職と共に取り組もうという動きがあり、具体化されていくと考える。本部でも支部への支援があると思えますが、期待しています。

午後 ピアノ演奏 浅香かおりさん

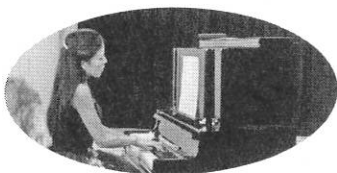
芸天大学院生（新発田市）の演奏を堪能した。

☆クラシックに親しむ機会にあ

まり恵まれませんでしたが、

浅香さんのピアノの美しい音色に魅せられました。しなやかで、しかも力強い指の動き

に目を奪われ、研修会後の心癒されるひとときでした。



年金の一元化（平成27.10.1より）

◇ 共済年金と厚生年金が一元化されました。（＝公務員も厚生年金に加入し、2F部分の年金が厚生年金に統一）一元化以後、年金受給の2F、3F部分は下記ようになります。

① H27.10.1前に65歳以上で、共済年金を受給している人

→引き続き「退職共済年金（2F部分）と職域部分（3F部分）」を受給。……ア

② H27.10.1に65歳未満で、共済年金を受給している人

→a. 65歳までは、「ア」と同じ

→b. 65歳以降は、2F部分は「老齢厚生年金」、3F部分は「職域部分（経過措置）」を受給。

③ H27.10.1前の共済組合期間を有し、同日以降に受給権を取得する人

→受給開始時から、2F部分は「老齢厚生年金」、3F部分は「職域部分（経過措置）」を受給。

◇ 既に65歳以上の年金受給者は、「共済年金」として支給され続けます。

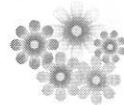
◇ いくつかの変更点は、遺族年金の転給が無くなる、未支給年金の給付範囲変更などです。

（詳細は「日退教」のホームページで「日退教事務局だより 2015.8.3号」等をご覧ください。）

感動と感謝の女性交流会

新退教副会長

古田セツ子



恒例の「女性交流集会」が、去る十月七日、新教組会館にて開催されました。

はじめに、佐藤会長から挨拶と「新退教の現状と課題」について説明がありました。

次に、参会者と本部役員とで三つのグループに分かれ「各支部の取組や課題の紹介、また、今後益々活性化するための方策」「医療・年金・介護の問題」「老後の生き方」等々、中身の濃い話し合いができました。

その後、各グループの内容を発表し合いました。新退教が活性化するためには「魅力ある活動にすること」また「口コミで宣伝していく」等々貴重な意見続出でした。

午後は、新潟中央高校ダンス部を世界一に導いた新発田市在住の外山陽子さんから「夢は捨てない！あきらめない！」という演題で講演を頂きました。多くの経験を通して「子どもを育てるとは」「教育とは」を熱く語りかける外山先生に、参加者は深い感動！感動！でした。また、先生のダンスを通じた人間教育の素晴らしさ・情熱にも深い感銘を受け、感謝！感謝！でした。

参加者の感想

☆各支部の取り組みを伺い、感心することが多くありました。柏刈支部の市議会議員を出した取り組み、反省を元に旅行を見直して新退教ならではの内容にしたことなど、目を開かれる思いがしました。

☆他支部の取り組みが参考になりました。教職を退き、自由な考えで生きていけば良いのですが、組織の恩を忘れてはいけないと思いました。教職員仲間を大切にして、会員として過ごしていきたいと思えます。

☆外山先生のパワフルさに圧倒されました。一つのことを成し遂げた人は、そのオーラを身体全体で表現するものですね。少しでも見習いたいものだと思います。ありがとうございました。

☆「温かく、美しく、凛として」のめあてを見た時、初めて参加した私は背筋が伸びました。退職して久しぶりに耳にした言葉でした。前向きに、美しく、凛として生きていきたいと、この会に参加して思いました。



地域包括ケアシステム

「地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制」をいう。政府は、団塊世代が七五歳以上の二〇二五年構築を目指す。

日退教ホームページ

「日退教」と漢字で入力するだけで簡単に検索できます。(各県退教の機関誌も掲載)

辺野古基金にご協力を

日退教から「辺野古基金」パンフが届きましたので配布します。ご支援をお願いします。

第一次集約一二六一筆

「三〇人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願署名」へのご協力、ありがとうございます。毎年、県教委交渉に必要です。来年度もお願いします。

訂正とお詫び

通信一六六号にミスがあり、申し訳ありませんでした。7P「事務局名簿」中、柏刈支部事務局長・県幹事を「小林公一」に、西蒲燕支部事務局を「025617314885」に、訂正をお願いします。

支部からのたより

支部だよりの編集



長岡支部事務局長

金子 正 孝

長岡支部だよりが十二月発行で八十号を迎えた。「親しみやすく、読みやすい」を目標にして、年三回発行されている。

平成二十年から三年間、広報部で支部だよりの編集に関わった。この間に大きな改革・改善等が見られ、継続されている。

総会&研修会、親睦旅行

南魚支部事務局長

小野塚 正 春

南魚支部では「会員相互の親睦を深める」ことに重点を置いて活動を進めている。

六月に行う総会では、会員を講師とした研修会を行っている。今年度は「寝たきりにならないために」のテーマでレインボー体操に基づいた筋トレ、脳トレを行い、心地よい汗を流しました。また、総会後の懇親会では、六十代から八十代のお元気な大先輩まで、世

具体的には、①紙面を光沢のあるコート紙に変えた。②より多くの会員の声を載せるため、十二月発行の紙面を一枚増やし、マイライフと趣味悠々の欄を設けた。③文芸欄が復活。④予算増額があり、支部だよりはハードとソフト両面で大きな変化があった。

編集では、特に原稿寄稿者への丁寧な対応に努めた。(電話で事前了解をとる。ゆとりのある締め切り日の設定。礼状の発送)

多くの会員に原稿依頼をした。「断られたら」とか「期日までにこなかったら」と不安や心配があったが、協力的な励ましをいただくこともあった。

代を越えて楽しくまた和やかに交流の輪を広げることができました。

七月には、会員がとても楽しみにしている一泊二日の研修・親睦旅行(悠友会の旅)に出かけます。今年度は朝の連ドラ「まれ」の舞台となった『能登半島・輪島温泉を巡る旅』で旅行の楽しさを満喫することができました。また、支部だよりを年三回発行し、ほぼ全員の近況を掲載するなど、会員相互の情報交換を大切に行っています。

これからも、百二十六名の会員(昨年比一名増)が更に親睦の輪を広げていけるよう取り組んでいきたい。

つながりを深める活動を

北新支部長

有 田 好

秋晴れのある日、「自分だけのアクセサリを作ろう」という集いがあった。ピースによる素敵なネックレスが完成すると、お互いに褒めあい、完成を喜び合った。

会員のつながりを深めたいと今年度から新しく始めた女性部の活動である。

会員をいかに増やすか、支部の大きな課題である。それには魅力ある活動を工夫することが大切である。

支部では、この他に今年度は、二回講演会を実施した。一回目は「特殊詐欺のこと」二回目は「終活について」。



例年、一泊研修旅行を行っている。今年は世界遺産「富岡製糸工場」と草津温泉の旅。

これらの活動の他に大切に考えているのは支部だよりである。特に年度の第一号は、会員からの近況報告等の便りを載せている。これは大変好評である。支部の諸会合に出席できない会員にとっては、支部だよりが会員とのつながりを保つ唯一のものである。

年に一度は支部全会員で行動を!



村上岩船支部長

滝沢武司

今年度支部総会が例年より若干遅れて七月二日に開催されました。その総会の会員意見交換の中で「会員としての所属意識と会の存在を示すためにも、年に一〜二度は、全員で署名運動でも一つのことに取り組むことも必要ではないか」という意見が出されました。

これまで要請署名は、予算や経費の関係等から一部を除いて役員対応が多かったのですが、早速検討の結果、緊急課題として要請のある「戦争をさせない全国署名」(戦争をさせない千人委員会)と毎年新教組依頼の「三〇人以下学級実現」の二署名運動を全員取り組むの趣旨理解と協力依頼(返信郵送負担)をお願いし、全会員に発送しました。

支部会員の熱意と協力を得た要請行動にもかかわらず九月一九日に国会での暴力的強行採決で「戦争関連法案」は議決されました。

支部会員の無念の意志を表明するためにも「安保法制の強行採決に強く抗議し、違憲部分の白紙撤回を求める意見書」を村上支部長で、九月三〇日に衆参両院議長、内閣総理大臣外務・防衛両大臣あてに送付しました。

行事「パークゴルフ」

小千谷・北魚支部事務局長

小林謙一

当支部では、会員同士の繋がりを深めたいという思いから、運動をする会と親睦旅行会の二行事をやっている。

その一つ、二年前から始めた「たまには、体を動かそう会」を紹介する。種目は、川口役場の生涯スポーツ担当者から紹介してもらった「パークゴルフ」。ルールは、非常に分かりやすく老若男女が無理なく体を動かすことが可能だったので採用した。「グランドゴルフ」と「パターゴルフ」のルールをミックスしたようなスポーツで、起伏のあるコースに九カ所のホールが設置されていて、それぞれのホールへ決められた打数で球を打ち入れて行く。クラブを振り下ろし玉をかつ飛ばす爽快感、野外なので仲間同士の会話は普段より声量を上げる、起伏のあるコースを歩いて移動、打数の計算等、足・腰・手に加え、脳・心・肺に普段の生活にない適度な負荷をかけるので終わった後の気分は爽快である。また、支部長から盾の授与や併設された喫茶で談笑も楽しい。



がんばれ後輩!

執行委員長

木村

博



(岩船支部村上第一分会)

(在住 胎内市)

「教え子を再び戦場に送るな」間違った歩みを元に戻し、平和と民主主義を取り戻すために引き続き頑張ります。競争主義や国家主義的な教育施策により、子どもも教職員も追いつめられています。現場が望む真の教育改革を求め続けます。よろしくお願いします。

こんにちは 新教組です



副執行委員長

宮崎隆太

(新潟市支部竹尾小分会)

(在住 新潟市)

次期参院選に向け、組合員一人ひとりが政治革新の意識を高め、法令遵守のもと政治活動を進めていかなくはなりません。豊かな教育実現のために、新教組推薦候補「あなたに正義日政連議員(比例代表)」へのご支援をいただけたら幸いです。お願いします。

がんばれ新教組!

熱戦！県囲碁大会

王将

九月十日、新教組会館にて、全国退職教職員生きがい支援協会との共催による「県退職教職員囲碁大会」が開かれた。

参加者は、新退教六名・新高退十名の計十六名で、澤田芳郎審判長のもと、熱戦が繰り広げられた。(選手権戦の新退教枠は四人だったが、二人しか応募がなく残念。来年はぜひ四人参加を)

なお、十月一日に石川県で北陸ブロック囲碁大会が開かれ、新退教から三人が出場した。

県囲碁大会の結果 (敬称略)

○選手権戦

- 優勝 飯塚良彦七段 (新高退新潟支部)
- 二位 中島憲一五段 (新高退新潟支部)
- 三位 澤田芳郎七段 (新退教上越支部)

○段位戦

- 優勝 木下利夫四段 (新退教上越支部)
 - 二位 佐藤暢夫四段 (新高退新潟支部)
 - 三位 鈴木信義四段 (新高退新潟支部)
- 北プロ大会出場者
- Aクラス 澤田芳郎 (上越支部)
 - Bクラス 木下利夫 (上越支部)
 - Cクラス 杉田三二 (三南支部) ↓◎優勝

五者合同学習会に参加して



新退教副会長
入 澤 稔

去る10月14日から二日間にわたって日退教の学習会が開催され、足どりも重く参加する。そもそも五者とは何なのか。日教組、全国退女教、共済生協、相互共済会、そして、日退教が加わる。私たち高齢者や子ども達も安心して心豊かに暮らせる社会を、いろんな立場で考え取り組んでいく組織なのだろうか。

安倍内閣が強行成立させた安全保障関連法への厳しい批判が相次ぎ、違憲法案を今後も受け入れていかないと確認する。

いま、急速に進むグローバル化、自由競争のなかで、効率化や強いもの勝ちが優先、高齢者や子どもたち、教育など様々な場面で格差が拡大している。私たちがそれぞれのステージで輝いて生きていける社会をめざして社会保障の充実を求めていくと同時に、それぞれが自立的に生活できる期間、いわゆる健康寿命を伸ばす努力をすることの大切さを学ぶ。国のかたちは社会保障で決まる。平成の富国強兵を目論む安倍政権には期待できない。

連合新潟 高齢者総会

七月二日に、新潟駅前のガレツソホールにて、連合新潟高齢者協議会の総会(新退教は代議員十一名参加)が開かれ、来賓として県副知事も来てくださった。

総会では、各自治体への介護保険制度充実の要請行動が報告された。また、地域包括ケアシステムに関して代議員からは、

「要支援1は市町村へ移行するが、実施や雇用は?」「連合はもっと介護の職場の賃金・労働条件に目を向けるべき」「自宅で最期を迎えたい人に対して、コミュニティ協議会は力になりうるのか」等が出された。

「①健康年齢を伸ばす ②個人の生活に役立つ活動 ③情報の発信と組織拡大」の三課題等の運動方針を採択して総会を終えた。

☆連合新潟「高齢協」ホームページ

<http://koureikyouniigata.jp/>

各地域や職域の総会、様々なイベントや催しも紹介すること。イベント情報等を掲載してほしいときは、写真と原稿の送付を。



組織対策委員会 中間報告



組織対策委員長

有田 好

組織対策委員会

① 会員減が続き、財政や活動に大きな影響を与えている。この現状を打開するため、当委員会が設置された。当委員会を数年継続し、着実に成果をあげたい。

② 本年度は四点提言する（第一次提言）。十二月の支部代表者会や各支部で議論を深め、来年五月の総会に反映させていただきたい。課題は多くて根は深いが、全会員で考えて考えて考えて、明るい希望へ繋げたい。

第一次提言

① 現状にあった規約に改定する

- ・ 現状にそぐわない箇所の削除や変更
- ・ 支部代表者会は一回開催
- ・ 機関等の明確化 等

② 再任用時代の入会勧誘を一層工夫する

- ・ ア未加入者には五年間、入会を働きかける。
- ・ イ入会案内の工夫を図る。
- 例・支部長名のほかに勧誘者を連記
- ・ 直筆で一言添える



- ・ 顔と顔のつながりを。口コミを。
- ・ 当支部勤務経験者にも入会案内
- ・ 入会申込の葉書を入れて案内状を送り、電話し、会う。
- ウ 情宣活動の工夫
- 例・支部内の現校長に支部だより配布
- ・ 分会回覧をお願いする。
- ・ 新教組主催「退職者慰労会」と連動
- エ 本部からの入会案内
- 二月の新入会案内号（新教組全分会へ）、三月の加入のお誘い（新退教各支部へ）の内容は、精選と重点化を図り、工夫して読みやすくする。「加入申込書」欄の有無は、各支部の意向に合わせる。

③ 一層魅力ある新退教へ

- ・ ア入会のメリットがある。
- 例・花鳥風食（地域ミニ旅行）
- ・ 確定申告はみんなで集まってる
- ・ 趣味の会
- イ 全会員に見える支部活動
- 例・拉致問題に関する講演会

④ 経費節減

- ・ 新退教通信の発行 四回→三回へ
- ・ 各種会合の見直し
- 例 支部代表者会 二回→一回へ

新たな決意



教職員共済生協新潟県事業所

所長 甲斐 年史

教職員共済は一九六五年に任意団体・日本教職員共済会として産声を上げました。一九六八年には、厚生省（当時）の認可を受けた日本教職員共済生活協同組合へと発展し、一九九六年に今日の教職員共済生活協同組合へと改称しました。そして、本年二〇一五年、教職員共済は創立五〇周年を迎えることができました。今、私たちは次の五〇年に向けて世代を継ぐその第一歩を踏み出しています。そして、次の三つの基本理念「相互扶助の輪を広げる」「教職員になくはない存在となる」「組合員への奉仕の立場を貫く」を再確認しました。

教職員の皆様に「安心・安全」を提供することを通じて、教職員にとってなくてはならない存在となり、日本の教育と子どもたちの未来に資する教職員共済を目指します。なにとぞ今後とも共済運動の発展にお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

会員のページ



豊かな新ボランティア社会

さわやか太郎

地域包括ケアシステム元年の今年、「さわやか福祉財団」堀田力会長の講演「みんなを支え合う地域をつくろう」を聴いた。

莫大な借金を抱えながら超高齢化社会に突入していく日本…。お金がない。氏は悩んだ末に覚悟を決め、軽い要介護者は近所等の新助け合い社会で、と言う。「余生を人のためにも」「自分のことしかやらないのは恥ずかしい」という文化を育てようとも強調された。政治や行政に厳しく要求しつつ、身近なボランティア創出も大切にしたい。

組織はありがたい

目覚め太



民間に勤めた。組合は無かった。経営者は組合無しを願い、従業員はそれを感じ、組合の「く」の字も出ることはなかった。

職場は様々な問題を抱えている。問題のない職場なんてあり得ない。重要なのは声を出せるか、受け取ってもらえるかだ。組合があ

れば毎年交渉でき、伝えられるのに…。

さて、我らは退職者。退職者も組織はある。そうでないと声が出ない。届かない。無視される。一方的な上意下達は御免だが、個が大切にされて高め合える楽しい組織は必要だ。

【ミニ情報】

○新潟市西蒲区越前浜6864に、会員夫妻の蔵改造「ぎやらりー浜つばき」がある。(TEL 0256-77-2013) 開館日は土日月&祝日。一Fが交流・喫茶で心温かさに癒される。一月は「浜つばきのつばき展」(友男)

○先輩お姉さんと一緒に、南魚沼市姥沢新田の「石坂まいたけ」(025-782-9705)を訪れた。特徴は「天然もの」を追求し、大きくて肉厚なこと。お土産に買って帰ったら妻に大変喜ばれた。やった！(愛妻夫)

○湯沢温泉の一流ホテルに三十人で平日宿泊しました。当初は予算的にとても無理だと思っていました。交渉してみたらなんとOK！ 恐いものが無い年代(?)の今、遠慮せずに当たりましょう。(年頃子)

○「労金の一番のお得は何？」と尋ねる機会があった。曰く「その一つは、キャッシュカードでATM引き出しの場合、いつでもどこでも手数料は実質0(一旦引かれるがすぐ戻す＝労金負担)」とのこと。(得男)

○毎日新聞「脳トレ川柳」で川島隆太指南役が「自分の人生を二四の川柳(人生二四句)にまとめませんか」と提案している。四字で自伝をまとめるのはすごい。(脳活子)

【応募規定】

*新退教では「人生十句」募集
☆自由文・人生十句川柳…二百字、ミニ情報…百字 ☆掲載者に図書カード進呈
☆ペンネーム可、場合により少し添削あり
☆送り先 〒950-0965 *FAX可
新潟市中央区新光町七-四 新退教
TEL & FAX 025-281-8146

編集後記

◇卑怯な手段「憲法解釈変更」、強行採決「戦争法案」…、安倍政権は危険です。監視し、声を挙げ、実施を阻止しましょう。

◇「会員のページ」を設けました。気軽に寄ってください。

